

音楽部会

山田 慶子

文化を通して育つ

音楽部会は、部会と二回の公開授業・公開講座を開き、活動しています。

今年も七月に、江東区香取小の特別支援学級で富澤さんが、若いもう二人の担任の先生と共に作曲家の丸山亜季さんをお迎えして公開授業を行いました。群馬、埼玉の若い保育士さんも四人参加して下さり、一緒にリズムをしたり、歌を歌ったり…。

楽しくてたまらない、もつともつとりズムをしたい！という子どもたちの意欲に溢れる姿がありました。子どもたちが確かに育っている事実にも六〇名の参加者誰もが希望をもらい、人間が文化を通して育つ原点に出会った気がしました。

先生の語りかけと音楽が丸ごと子どもたちをつつみこみ、先へひらいていく

ズムが一時間中流れていました。一人一人が安心して自分を表現していて、どの子も、大きく見えました。子どもたちの「いま」を先生がよく見て、次へと高めていくもの（教材）は何かを的確に選び、示していくことがとても大事なことなのだといいことを改めて実感した授業でした。ザリガニ（リズム表現）、すぐく良かった！先生のうた・ピアノもその曲のイメージを良く伝えていたと思いました。

（参加者感想より）

また、昨年度には二回の部会で、小学校と幼稚園で音楽の教師と担任の先生とがどう連携し、子どもたちを育てていくかということ、学ぶことができた。部員一人一人が職場の中でどう協働

して子どもたちを育てていくか、また的確な働きかけがいかにかに子どもを健康に、まっすぐ育てるのかということ、DVDや実際の子どもたちの歌声も通してあらためて確認することができました。

毎年全国教研集会の前後には、必ず部会を開き、学びを深める活動を行います。七月二四日には、さまざまな立場や年代の方々が二〇人も参加して部会を持つことができました。

子どもに音楽に真正面から向き合っており、今年も熱い学びが続きます。他の部会との共同の学びも是非深めてみたいと思っっています。どうぞ、興味のある方はご参加下さい。

（葛飾・大道中）



リズム表現「糸車」